

Architect7.2 で X をインストールさせる設定

版	日付		記述							
	発行		作成			確認		承認	ÿ	
版	日付	2017/05/25	記述				加筆訂正			
2	発行	プロフェッショナルサービス	作成	大島龍博		確認		邂	2	
版	日付	2017/05/24	記述				新規発行			
1	発行	プロフェッショナルサービス	作成	大島龍博		確認		承認	2 2	
丰昭				No		DI		版	2	
-	仅起	超 Architect/.2でXをインストールさせる設定		この政定			ΓU		<u> ^゚ージ</u>	1/8



目次

1.	材	概要		. 4
	1.1	Ι.	適用範囲	. 4
	1.2	2.	用語の解説	. 4
2.	A	Arch	itect7.2の版について	. 5
3.	-	セッ	ションの開始時の選択について	. 6

表題	Architect7.2 で X をインストールさせる設定	No	版	2
衣起		FJ	ヘ ゚―ジ	2/8



表	1-1	用語の解説	ŀ
	• •	7 13 H + + 7 11 H + +	1

図 3-1	セッションの開始時の選択画面	. 6
図 3-2	Select Software	. 7
図 3-3	Deploy Image	. 8

表題	Architect7.2 で X をインストールさせる設定	No	PJ	版	2
衣闼				<u>^^-ジ</u>	3/8



1. 概要

1.1. 適用範囲

本稿は、Architect7.2 でXをインストールさせる設定について記述します。 Archtect7.2の操作方法は、下記 URLの日本語マニュアルを参照してください。

https://www.ccur.co.jp/external/TechSup/RedHawkArchitect_UsersGuide7.2.pdf

1.2. 用語の解説

下記表1に用語について示す。

表 1-1 用語の解説

用	語	解	説	

主明	Architect7.2 でX をインストールさせる設定	No	版	2
衣起		۲J	ヽ゚ージ	4/8



2. Architect7.2 の版について

Architect7.2には、以下の2つの版が存在します。

- 1. ccur-architect-7.2-20160630.x86_64.rpm
- 2. ccur-architect-7.2-20161121.x86_64.rpm

もし、ccur-architect-7.2-20160630.x86_64 版を使用中の場合には、redhawk.com にアクセスして頂き、新しい版をダウンロードして、以下の手順に従ってください。

rpm -e ccur-architect-7.2-20160630.x86_64

rpm -ivh ccur-architect-7.2-20161121.x86_64.rpm

また、Architect を起動する場合には、export LANG=C;architect で、ディフォルト言語をCに設 定してください。

設定しない場合、"Chroot Shell"で gnome terminal を選択できません。

丰駬	Architect7.2 で X をインストールさせる設定	No	版	2
衣起		ΓJ	ヘ ゚ージ	5/8



3. セッションの開始時の選択について

new session を開始する際に、下記メニューが表示されますので、左側のパネルで GNOME Desktop を選択し、右側のパネルで、 "GNOME Applications"と "Legacy X Window System Compatibirity"をチ ェックし、Next をクリックしてください。



図 3-1 セッションの開始時の選択画面

+ 昭	A	No	版	2
衣起	Architect/.2 で X をイ ンストールさせる設定	۲J	ヽ゚ージ	6/8



次に重要なのは、下記 Select Software 画面で"Install NVIDIA graphics package"を選択してください。 また、将来の Nvidia ドライバのアップデートに備えて"Installadditional kernel debugging package" を選択しておくと良いでしょう



☑ 3-2 Select Software

後の作業は任意にパッケージの追加を行えば良いのですが、このままだと CentOS のロゴのままなので、"Chroot Shell"タブで、下記パッケージの削除を行って、

rpm -e --nodeps centos-logos-70.0.6-3.el7.centos.noarch

"Customize Image"タブから、

rpm -ivh --nodeps ccur-redhawk-logos-7.2-20160309.noarch.rpm

の追加を行い、メディアにデプロイしてください。

H 田	A	No	版	2
衣起	Architect/.2 でスをインストールさせる設定	FJ	ヘ ゚―ジ	7/8





図 3-3 Deploy Image

この際必要なイメージサイズは、約7GBytesになります。

表題	Architect7.2 で X をインストールさせる設定	No	版	2
衣起		۲J	ヘ ゚―ジ	8/8